

10 生活などへの満足感

余暇生活、学校生活、友人関係に関する満足感は、4か国とも総じて高い。しかし、日本は、自分自身への満足感が、他の3か国を大きく下回っている。学業の成績に関しても、日本は、韓国と並んで低い水準にある。

図10-1は、余暇生活に関する満足感の状況を示したものである(無回答があるため、計は100%にならない。以下同様)。これをみると、「とても満足」と回答した者の割合が、日本35.3%、米国37.3%、韓国30.6%と、日米韓は3割を超えているが、中国は27.4%に止まっている。「まあ満足」を加えると、日本は9割弱に達し、米中韓を上回っている。

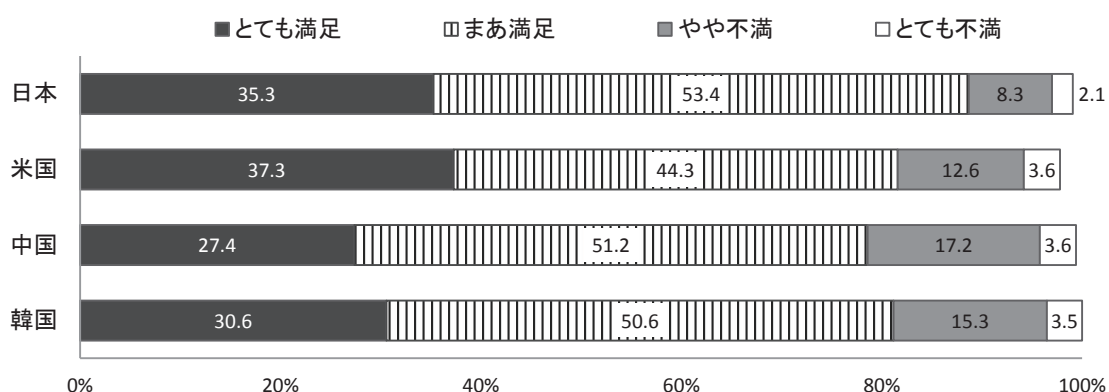


図10-1 余暇生活への満足

学校生活についての満足感では、「とても満足」と「まあ満足」と回答した者の割合が、日本は8割強に達しており、米中韓の3か国に比べて高い(図10-2)。

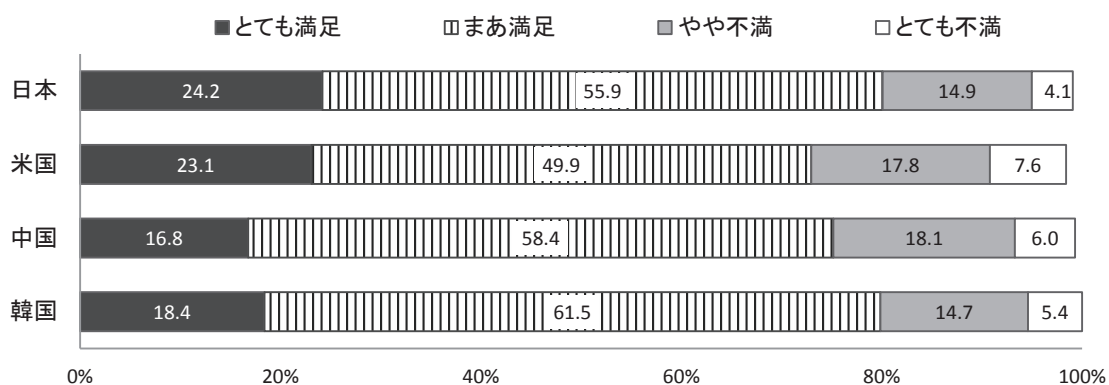


図10-2 学校生活への満足

自分自身に対する満足感では、米国の満足感の高さと日本の満足感の低さが際立っている。「とても満足」と回答した者の割合が、米国の49.1%に対し、中国27.2%、韓国23.1%であるが、日本は10.6%に過ぎない。「まあ満足」まで加えると、米国は8割強に達しており、中国と韓国は7割台となるが、日本は5割台に止まっている(図10-3)。

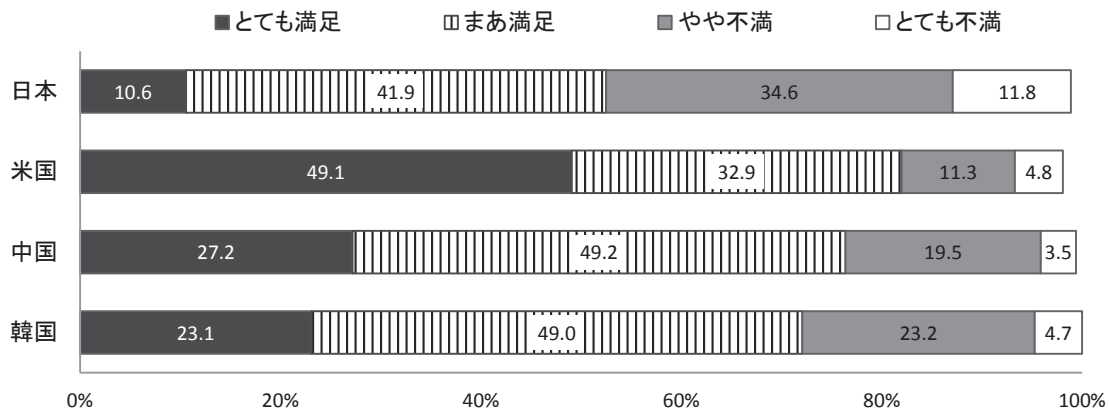


図10-3 自分自身への満足

友人関係に対する満足感では、「とても満足」と回答した者の割合が、日中韓の3割前後に対し、米国は5割弱という高い値を示している。「まあ満足」を合わせると、4か国とも9割弱となり、総じて高校生が友人関係に満足していることがわかる（図10-4）。

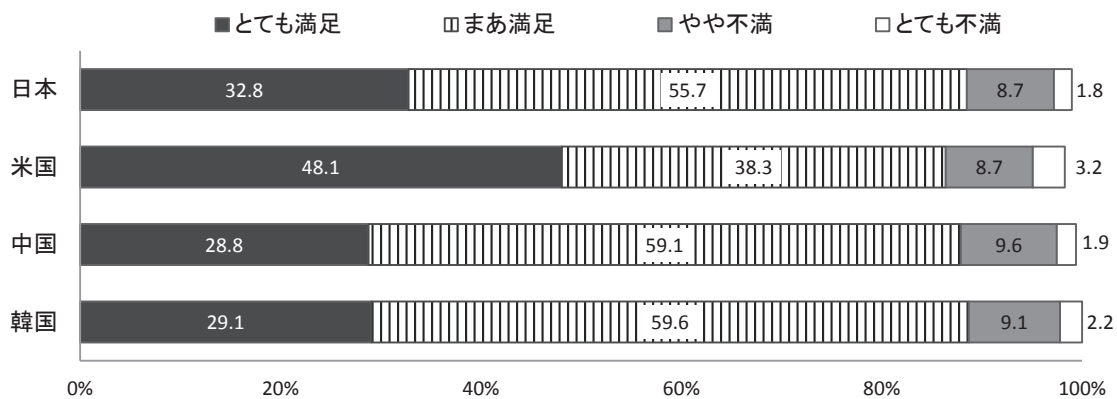


図10-4 友人関係への満足

学業の成績への満足感では、「とても満足」と回答した者の割合が、日中韓の3か国は1割も満たないのに対し、米国は3割を超えている。「まあ満足」を加えると、米国は8割弱に達しているが、中国は5割弱、日本と韓国は3割台にとどまっている。これをみると、日本と韓国では、自分の成績に不満（「やや不満」と「とても不満」と回答した割合の合計）を感じている高校生は7割弱もいることがわかる（図10-5）。

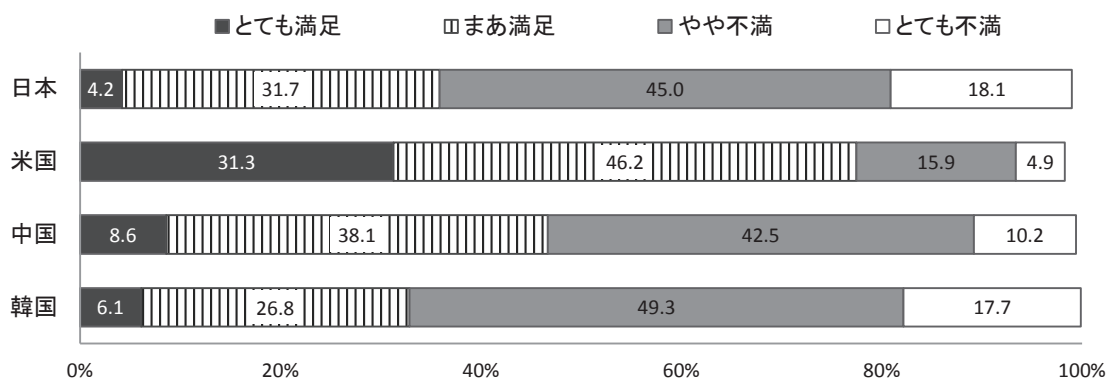


図10-5 学業の成績への満足

また、成績に対する自己評価については、「上・中の上」と回答した者の割合が、米国は4割弱で、次いで中国の3割強である。日本と韓国は2割台にとどまっている。「中の下・下」と回答した者の割合が、米国の7.6%に対し、中国19.0%、韓国31.8%、日本は37.2%と最も高い。

成績別で、学業の成績への満足感をみると、表10-1のとおり、4か国とも成績上位者ほど、満足感が高くなっている。但し、米国では、成績下位者でも5割弱の者が自分の成績に「満足している」ことが、日中韓の3か国と大きく異なっている。

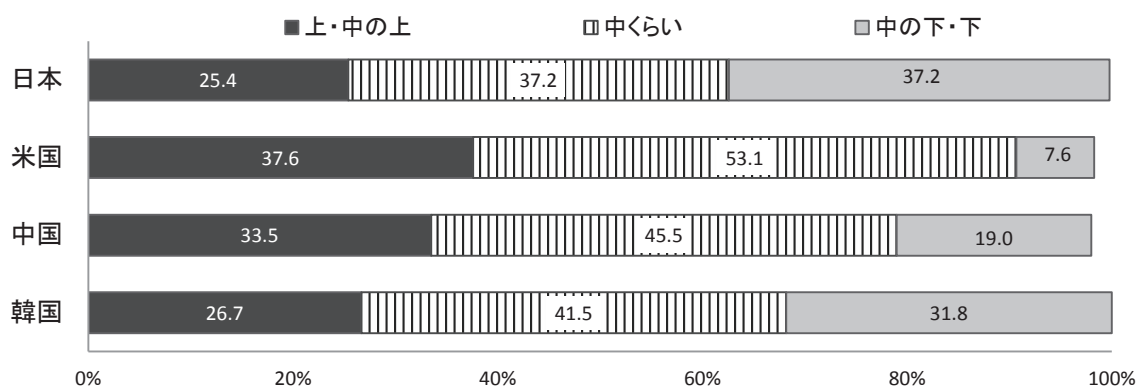


図10-6 クラスの中での成績

表10-1 成績別・学業の成績への満足感(「とても満足」「まあ満足」と回答した割合の合計)

	成績		
	上・中の上	中くらい	中の下・下
日本	61.5	38.7	15.4
米国	88.4	74.4	47.9
中国	68.3	42.9	18.6
韓国	59.2	30.2	14.4